

香川県立丸亀城西高等学校 「いじめ防止基本方針」

I 「基本方針」策定の目的、「いじめ」の定義

1. 目的

この方針は、いじめ防止対策推進法に基づき、香川県立丸亀城西高等学校における「いじめ防止基本方針」について必要な事項を定めることにより、いじめの防止を総合的かつ効果的に図ることを目的とする。

2. いじめの定義

「いじめ」とは、生徒に対して、当該生徒が在籍する学校に在籍している等、当該生徒と一定の人間関係にある他の生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった生徒が心身の苦痛を感じているものとする。

II 基本方針・いじめ防止対策委員会・年間計画

1. 基本方針

- (1) いじめは、いじめを受けた生徒の教育を受ける権利を著しく侵害し、心身の健全な成長や人格の形成への重大な影響のみならず、生徒の生命や身体に重大な危機を生じさせる恐れがあるものであり、許されるものではない。このことを十分に理解したうえで、いじめ防止の対応に取り組む。
- (2) 「いじめはどの生徒にも起こりうる問題である」という認識を持ち、その未然防止や早期発見などに、組織的かつ計画的に取り組む。
- (3) 「いじめの防止」に全ての教職員で取り組むために、職員会議や学年団会議等での情報交換に努める。
- (4) 保護者や関係機関との連携を図る。また、心理や福祉等に関する専門家であるスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを活用する。

2. いじめ防止対策委員会

上記の基本方針を実効的に推進し、いじめに対する措置が適切に行われるよう、いじめ防止対策委員会を設置する。なお、委員会は校長を委員長とし、委員は以下のとおりとする。

委員長 校長
委員 教頭 生徒指導主事 学年主任 教育相談部長
人権・同和教育主任 生徒指導部副部長 養護教諭
スクールカウンセラー スクールソーシャルワーカー

3. いじめ防止対策の年間計画 (別表)

Ⅲ いじめ問題への対応

1. いじめの未然防止について

いじめの未然防止を図るため、特に下記の事柄に留意し、年間計画に基づき全ての教育活動を通して、生徒の健全な成長に努める。

- (1) 「自ら学ぶ」生徒を育成する授業を行い、進路指導を充実させる。
- (2) 豊かな情操と心の通う対人交流能力を育むホームルーム活動や学校行事を実施する。
- (3) 自主性と協調性、規範意識等を育む部活動に努める。
- (4) インターネット上での誹謗中傷等、今日的な課題にも対応する。

2. いじめの早期発見について

いじめを早期発見するために、アンケート調査と面談を定期的実施する。また、教職員は生徒の観察を怠らず、もし、いじめの発見や申し出等があった場合、直ちに生徒指導主事と学年主任に報告し、以下のフローチャートにより適切に対応する。

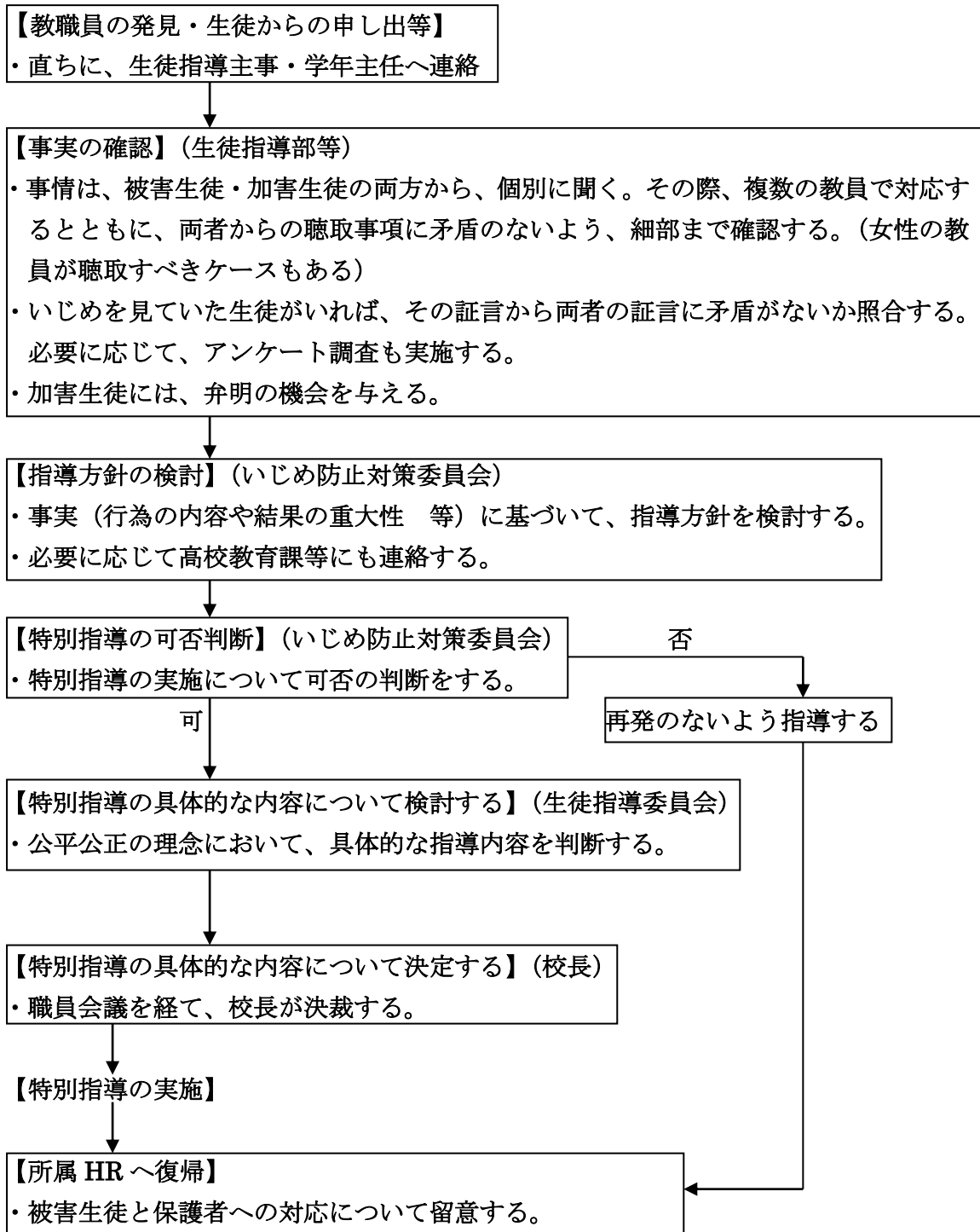
3. いじめの発見時のフローチャートについて (別紙)

4. 重大事態発生時のフローチャートについて (別紙)

5. いじめの再発防止について

いじめの再発を防止するため、いじめ防止対策委員会が適切な措置を講ずる。

いじめ発見時の対応（フローチャート）



○事後の対応

（高校教育課へ報告。事実について文書化し記録する。）

重大事態への対応（フローチャート）

次に挙げる場合には、重大事態として対処する。

- いじめにより生徒の生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがあると認めるとき
- いじめにより生徒が相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあると認めるとき

